

# あじさい Vol.7

〒650-0013 神戸市中央区花隈町33番19号 Tel.(078)351-0657(代表) <http://www.kobe-kango.ac.jp/>



## 巻頭言 あじさいの如く

学校長 林 美栄子

平成23年4月8日、本校講堂に於いて64名の新入生を迎え入学式を執り行いました。平成23年3月に第二学科が閉科し、今年度から神戸看護専門学校として学科の名称を変更し、3年課程だけのスタートになつて初めての新入生です。学校も新たな気持ちでこの日を迎えました。

3月11日に発生した東日本大震災は、地震と津波そして原子力発電所の事故に伴う放射能汚染という未曾有の甚大な被害を受けられた皆様にお見舞い申し上げますと共に、お亡くなりになられました方々のご冥福を心よりお祈りいたします。さて、新年度にあたり本校の教育理念について述べます。

教育理念の4つの柱の1つは民間病院の医療を担う実践者としての看護師の育成です。

私たちが病気になるって最初に訪れる地域の病院の7割は民間病院です。つまり、民間病院の医師や看護師などの医療体制の整備は非常に重要であり皆さんには地域医療

を担う実践家の看護師を目指して欲しいと願っています。

2つ目は、安全と安心を与えられる看護師の育成です。

命にかかわる職業の看護師は、専門職としての責任を自覚し国民の信頼と期待に応えうる看護師でなければなりません。医療安全の意識と倫理観を高め、一人ひとりをかけがえない人として考えられるように感性を磨き、思いやりのある優しく丁寧な言葉使いや態度で人間関係を築く力が求められます。

3つ目は、感じ考え行動できる学生の育成です。

本校の講師はそれぞれ専門分野で活躍している講師です。専門家がゆえに考え方が異なってくることは当然です。従って、皆さんは、講師の見解を正解とするのではなく、自分の聞いた講義を元にして、自ら考え、調べ、自ら納得して行動しなければなりません。

高齢社会の現在、高齢者の基礎学歴は高くなっています。そのような

方々に対応するために、専門的知識や技術の習得にとどまらず、幅広い知識と豊かな教養を身につけてください。

4つ目は、主体的に学ぶ姿勢の育成です。

3年間は看護師になるという目標に向かう学習になりますが、本校では「自らの意志で学ぶ」ポートフォリオを活用したプロジェクト学習を導入しています。

「あなたは何のために」「何をやり遂げたいのですか」「そのために何をしますか」「それはあなたにとって価値のあることですか」の問いに対して、自問自答を繰り返しながら必要なことを自分の力でつかみ取っていきましょう。

最後に、本校の校章は、あじさいをモチーフにしています。藍色が集まったものを意味する「あつ(集)」と「さ(あい)真藍」の「あつさい」が詠ったものとされています。あじさいは可憐なひとつひとつの小さな花が集まって一輪の花となります。花を咲かせるためには大量の水を



吸収し蒸発させる性質があり、その色は大地の変容を受けとめ、その形や色を自在に変化させ、雨上がりにはいっそう輝きを増します。私たちが一輪と思っているあじさいですが、色がついているのは「萼」で花はその中の小さな点のような部分で一番最後に咲きます。

皆さんは3年間の基礎教育の中で看護に必要な栄養を十分に吸収して大輪の花となり、卒業後には社会や文化を創造し輝ける看護師として花を咲かせられるよう努力してください。



1年1組  
天野 正明

私は、介護施設・病院のヘルパーを経て、神戸看護専門学校に入学しました。4月7日の入学式を迎えるまで、この学校で果たして学生としてやっていけるのかと不安な毎日を通じていたことを覚えていますが、いざ入学してみると現役生の10代から社会人として様々な職種を経た20代・30代の看護師になりたいという非常に高い目的意識をもった大勢の学生が入学していることに大変驚きました。同時にその仲間たちと3年間勉学を共にし、看護師を目指すことに改めて頑張ろうという強い気持ちが生えました。

本校の諸先輩方である大勢の卒業生の皆さまが兵庫県下の様々な民間病院でご活躍されていることを多くの機会に耳にします。

その先輩方に負けないような看護師を目指すため、本校での3年間が実りある時間となるよう頑張りたいと思います。



1年1組  
大下 瑞穂

不安でいっぱいだった入学式から数日が経ち、さまざまな年齢の方と出会い、毎日たくさんさんの刺激を受け、少しずつ不安な思いから期待へと変わっていききました。これからの3年間は、患者さま一人ひとりに寄り添える看護師になるため、たくさんの方を自ら学び、自分を高め、そしてかけがえのない仲間を作っていきたいと思っています。



1年2組  
竹内 知子

入学式を終えた今、改めて本校に入学してよかったと感じています。

私は、社会人経験後の入学のため、最初は学生生活への不安でいっぱいでしたが、社会人入学者も多く、話しているうちにいつの間にか不安は仲間との楽しい学校生活への期待に変わりました。そしてまた私は、本校の教育内容にとっても魅力を感じています。

入学式の翌日に、未来教育プロジェクトの講義を受け、目標を達成するための計画や構想についての話を聴き、今は勉強することがとても楽しいと感じています。

これから3年間、自分で学び自分からテーマを拡大していく主体性のある看護師を目指して、日々精進していきたいと思っています。



1年2組  
山下 航

僕が看護師になろうと思ったのは、看護師である母の話を聴き看護師という仕事に興味をもったからです。そして、母の職場の人の薦めもあり、この学校を希望しました。

この兵庫県民間病院協会神戸看護専門学校に入学して二週間以上経ちました。まだまだ慣れないことが多く戸惑うこともありですが、クラスメイトが気さくに声をかけてくれたり、勉強のことなどを学び合ったりしています。愛のある看護師を目指し、気を抜かず頑張りたいと思います。

### 新入生をむかえて

一年生担任 荻野 知江子



今年度は新入生64人を迎えました。新入生を担当するにあたり、学生が学習意欲を持って看護学生として一歩を踏み出すための関わりを持つ意味で責任重大であると感じています。また、学生全体の約4割以上が社会人であり、「ステップアップ」や「学びなおし」を目的として看護師を志望してきています。新卒学生と経験ある社会人学生が一緒になることで相互の学びあい効果は大きく、よい学びの場が形成されるように支援していきたいと考えています。

教育理念に含まれる「地域医療の担い手」「実践者を育成する」、「主体的に学ぶ」、「感性豊かな人間性」の4つを柱にして「感じ・考え・行動する」看護の実践者を育成することを目指しています。しかしながら、学生の傾向として、指示を受けないと行動できない、学習習慣が身につけていない、丸暗記型の学習中心で答えを求めめる傾向があります。平成20年度より「未来教育プロジェクト学習」を導入し、この学習により学生は自己成長を確認し、自分自身に自信を持つことができ自己効力感を高めます。私は、実践能力の土台がこの学習を通して養うことができると確信しています。学生の「意志ある学び」を支援し、「患者の思いに寄り添える看護師になりたい」という学生が目ざしている看護師像に少しでも近付くことができるように教育していきたいと考えています。



**新カリキュラム** 副学校長 鷓飼 知鶴

平成21年度から3年課程はカリキュラムが改正され新カリキュラムで運営していますが、今回、学生数の増員に伴いカリキュラム評価を実施し、一部カリキュラムを改正しました。今回の改正では、専門分野Ⅰに看護実践の基礎Ⅰを設けたことが特徴です。本校では、ポートフォリオを活用したプロジェクト学習を導入しています。1年の入学当初にこの学習手法を身につけ、その後の学習に活用するために科目を新たに設定しました。

	1年生	2年生	3年生
<b>基礎分野</b>	哲学 論理学 情報科学 教育学 心理学 人間関係論 生活科学 文化人類学 家族社会学	英語文献講読 健康とレクリエーション 医療と経済 医療英語	臨地実習
<b>専門基礎分野</b>	形態機能学Ⅰ 形態機能学Ⅱ 形態機能学Ⅲ 形態機能学Ⅳ 形態機能学Ⅴ 臨床栄養学 臨床病理・病態学 臨床微生物学 疾病論Ⅰ 疾病論Ⅱ 疾病論Ⅲ 疾病論Ⅳ 疾病論Ⅴ 疾病論Ⅵ 臨床薬理学 健康支援方法論 リハビリテーション論 看護と法律	疾病論Ⅶ 健康と公衆衛生 保健医療論 社会福祉学	
<b>専門分野Ⅰ</b>	看護実践の基礎Ⅰ 看護実践の基礎Ⅱ コミュニケーション論 基礎看護技術論Ⅰ 基礎看護技術論Ⅱ 基礎看護技術論Ⅲ 基礎看護技術論Ⅳ 基礎看護技術論Ⅴ 基礎看護技術論Ⅵ 基礎看護技術論Ⅶ 基礎看護学実習Ⅰ-1 基礎看護学実習Ⅰ-2 基礎看護学実習Ⅱ	基礎看護技術論Ⅶ	看護研究
<b>専門分野Ⅱ</b>	成人看護実践の基礎 老年看護実践の基礎	生命危機支援論 日常生活支援論 慢性疾患支援論 終末期支援論 成人看護技術論 高齢者看護技術論Ⅰ 高齢者健康支援論Ⅰ 高齢者健康支援論Ⅱ 小児看護実践の基礎 小児看護技術論 子ども健康支援論Ⅰ 子ども健康支援論Ⅱ 母性看護実践の基礎 母性看護技術論 母性健康支援論Ⅰ 母性健康支援論Ⅱ 精神看護実践の基礎 精神の健康課題	精神看護技術論 精神健康支援論
<b>統合分野</b>	リスクマネジメントⅠ	老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 母性看護学実習	成人看護学実習Ⅱ 成人看護学実習Ⅲ 小児看護学実習 母性看護学実習 精神看護学実習  在宅看護実践の基礎 在宅看護技術論Ⅰ 在宅看護技術論Ⅱ リスクマネジメントⅡ  在宅看護論実習 統合看護技術論実習

**前期行事予定表**

月	行事
4月	入学式 入学式 特別講演 健康診断 防災訓練 新入生歓迎会
5月	卒業生の体験を語る会 カムバックデイ
6月	学校説明会
7月	オープンキャンパス
8月	夏季休暇

**平成22年度国家試験合格率**

課程	国家試験合格率	
	本校	全国平均
看護専門課程 3年課程	95.0 %	91.8 %
看護専門課程 2年課程全日制	91.7 %	

**平成23年度 新入生歓迎会**

平成23年4月22日(金)新入生歓迎会を行いました。「新入生の不安を解消したい! 学年の壁を越えて仲良くなりたい!」というビジョンを掲げ、「不安の解消! 仲良くなる!」というゴールを目指し各グループで戦略を立てました。

王子動物園や北野異人館、兵庫県警本部内の見学など、グループ毎に散策の場所は違いましたが、学年間の交流が図れ良い関係作りにつながりどのグループもゴールは達成したようです。

2年生の実行委員やクラスのみなさんの協力もあり、楽しく充実した会を終えることができました。お疲れさまでした。黒田 葉子



**講師会議**

平成23年4月7日(木)入学式が終了した午後より、平成23年度の講師会を開催いたしました。今年度お世話になりました。今年度お世話になる講師の先生方に御出席頂き、各学年の学生の状況や教育課程履修規程についての説明を行いました。多数ご質問いただき、意見交換の場となりました。

黒田 葉子



### 本年度の本校の特徴

この3月に2年課程全日制が開校しました。本校は准看護師免許保持者の学生を対象に2年課程の看護師養成を昭和52年以来続けてきました。その後平成15年に高等学校卒業資格者を対象とする3年課程が設立され2つの課程が並立してきました。しかし2年課程が終了したことから4月以降は3年課程のみの単科の学校になりました。また今年度から定員が60名に増員され将来は70名定員を目指しています。本校は数年前から社会人入学試験を導入し年々社会人の受験者が増加しています。特に最近の経済環境

境を反映してか、短期大学から大学院卒までの高学歴の学生が増えてきており、本年はこれらの学生が3割を超えました。

ポートフォリオを活用した未来教育プロジェクト学習を取り入れた授業を本校の目玉として今後も進めていく予定です。

尚、4月よりホームページを全面的にリニューアルしました。



(校舎)

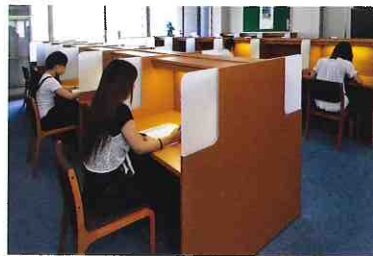
### 図書室の紹介

本校の図書室は5階にあり、蔵書数約1万3千冊、雑誌タイトルは36誌を所蔵しております。2010年7月に閲覧室部分を増設し、1人用キャレル(閲覧机)を30台設置しました。

この1人用のキャレルは利用者に人気で、実習中・国試前に大活躍でした。また、卒業生はもちろんですが、民間病院協会会員病院の職員の方々も利用できます。HPに図書室の利用案内等を掲載しておりますので、どうぞご利用ください。

教務事務兼司書

森井 理恵



## 教育理念・教育目的・教育目標

### 教育理念

本校は兵庫県下の民間病院の医療を担う看護者の育成を目的とし、医療安全に対する意識を高く持ち、自ら感じ考え行動できる専門職業人の育成を目指す。

看護はあらゆる健康状態の人々を対象とし、生涯を通してその最期までその人らしい生活を送れるように支援することである。

また、学生一人ひとりをかけがいのない存在としてとらえ、可能性を引き出し、その能力を最大限に発揮できるように支援する。

### 教育目的

本校は看護師に必要な基礎的知識・技術・態度を修得し、豊かな人間性を育み、倫理的価値観を形成し、兵庫県下の民間医療に貢献できる看護の実践者を育成することを目的とする。

### 教育目標

1. 生命の尊重と人間愛を基礎とし、相手を思いやる豊かな人間性を養う。
2. 人間を統合的に理解し、看護を必要とする対象に対して、根拠に基づいた看護を実践できる基礎的能力を養う。
3. 看護職としての役割と責任を認識し、保健医療福祉チームの一員として社会に貢献できる基礎的能力を養う。
4. 自らの意志で学び、よりよい看護を探究する基礎的能力を養う。



## 編集後記

今年の3月、東日本大震災がおこり、東北地方では津波による大きな被害がもたらされました。現在もまだ行方不明の方が多数おられ、現地では懸命の捜索、被災者の救済が行われています。被災地のニーズを目にするたびに、私たちは、阪神・淡路大震災の時を思い出さずにはいられません。今、日本全地域が「私たちに何かできることはないか」と、被災された方々のために頑張つて動いています。学校も、「今できることから始めよう」と募金活動を行いました。一日も早く被災地の復興が進むことを願っております。

4月に入り学校は、新入生64名を迎え新しい年がスタートしました。2年生・3年生はもちろんのごとく、新入生も看護師を目指すものとして、今回の大震災を機に更なる看護の道への決意を新たにしたいことでしょうか。社会に貢献できる看護師の育成に、教職員一同協力し学生を支援していこうと思っております。これからも引き続き学生・学校へのご支援とご協力をよろしくお願い致します。

実習調整者 大西 安代

あじさい 第7号

発行日 平成23年5月20日

発行所 社団法人兵庫県民間病院協会  
神戸看護専門学校

発行責任者 林 美 栄 子

印刷所 有限会社 河里盛広館